

事例ノート. CASE 1

三重県津市
(有)建築工房テイク・ワン 様

建物と外構をトータルに設計するため
お客様の要望にきめ細かく応えられるのが強み
安全性にこだわり基礎には予算をかける



代表取締役
船木英一様

建築会社に勤務後、平成7年に住宅の建築設計・施工を主たる業務とする当社を創立。実績として年間数十棟を手がけています。当初から住宅建築が9割、外構は1割程度の“建築寄り”的な会社で、建築した家の外構プランを請け負うことはあっても、外構だけの仕事をすることはできません。

建築士の目から見たエクステリア業界は、驚くことばかりでした。エクステリアの業者さんも玉石混淆…今まで建築関係者は家にしか目が向かず、外まわりに無関心すぎたのだと思います。それだけに、建築士ならではの庭づくりに取り組んでいきたいと思っています。

当社の外構プランは、予算が高めだと言われます。しかし、きちんとベースのコンクリートを打ったり、基準法にのっとって鉄筋を入れるなどすれば、それ相応の費用はかかります。それは長く安全に使うために必要なことで、譲れない部分なのです。ですので、お客様には安全性や強度など、またそれにともなう費用についてしっかりご理解いただいたうえで着工するよう心がけています。

われわれの強みは、建物とエクステリアをトータルに計画できること。どこに車を置きどこから家に入るか、この窓から眺めるならどこに木を植えたら美しいか、浄化槽の位置はどうするか、などと、家と外まわりを連動させながらお客様の要望にきめ細かく応えていくようにしているので、より適切な生活提案ができるのです。

そのためお客様の満足度も高いようで、追加やリフォーム、ご紹介など、リピーターのお客様が非常に多いのも特長です。スタッフは6名。私を含めた男性4名は、営業から現場管理までひとつの物件を一貫して担当します。それにキャドのオペレーターの女性1名、経理の女性1名です。下請けの職人は3チームあって、技術が高くていいねいな仕事をしてくれます。

デザインについては、それぞれの地域性を大切にしています。伊勢なら伊勢の土地に合う和風住宅、というふうに。これからも、その土地の街並みに調和したうえで、個性が發揮できるような家やエクステリアをつくっていきたいですね。



前列左から青木実乃里様、刀根宏文様、船木様、後列左から夏池賢様、濱地美幸様、橋本健様。意欲満々の精銳スタッフです。



[エクステリア全景]
現代和風の建物にM.シェードやJ.モダンの門扉が美しく調和。長いアプローチは、滑りにくい玄晶石風タイルを使用。門を入ってもさらに続き、奥行き感を演出。



[カースペース]
ダイナミックなM.シェード。軽快なシルバー色と透明屋根の明るさで、圧迫感がありません。間に柱がなく敷地をワイドに使えます。



[門扉]
鋳物の重厚感に円形モチーフが新鮮なJ.モダンの門扉。

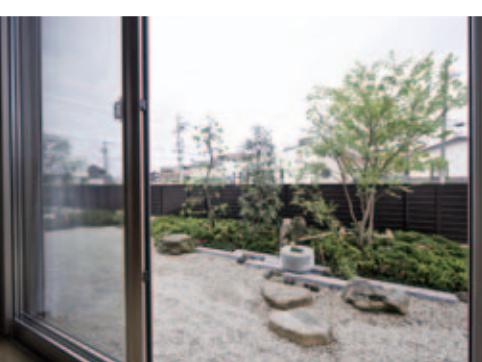
ダイナミックなM.シェードと端正な和モダンの調和

M様邸

住まいの全面建て替えを機に、敷地内で別棟だった子息世帯も一緒に二世帯住宅に。和風が主流の土地柄で、現代和風にとのご要望に応えて、すっきりしたデザインに仕上げました。アプローチの距離をじゅうぶんに確保して奥行き感を出し、懐の深い落ち着いたたたずまいに。



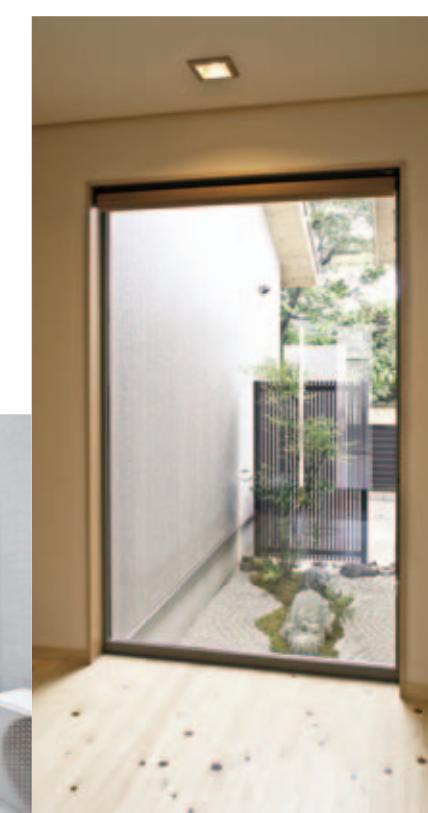
[物置兼物干し場]
勝手口の奥には奥様のご要望でオイツクを設置。物置としてだけでなく、雨の日の洗濯物干し場としても重宝。勝手口の扉はカムフィを採用。



[坪庭]
ご両親のリビングから眺められるようにつくられた坪庭。植栽のエリアを区切ったので、草取りなどのメンテナンスも楽です。



[坪庭から玄関を見る]
J.モダンのフェンスを縦格子として使用。さりげない目隠しに。



[玄関奥の坪庭]
玄関の奥のはめ殺し窓から坪庭が眺められます。「京都の旅館のように」とのご要望で竜安寺の石庭風に。



[庭側からのアプローチ]
庭から門を見たところ。門ははさんでアプローチがまっすぐに延びています。フェンスはカムフィを採用。

**さすがプロ！
満足度120%です**
「家も庭もすべてお任せしましたが、さすが餅は餅屋。M.シェードは中に柱が1本もなくスッキリ！近所でも評判で、おかげで豪邸といわれています」(M様談)
笑顔のお施主様



[門から玄関へ]
門を入ってゆるいステップを上がり、直角に折れると玄関。マイリッシュの手摺りをつけた人にやさしい設計。